



東 久延 議員  
(一括質問方式)

- ① 教育環境整備
- ② 避難所の整備
- ③ 観光まちづくり

### 環境教育整備について

**問** 長浜高等学校水族館部が、インターネット国際学生科学技術フェアにて見事4等入賞をされた。これは、長年の努力の賜物であり、また部活動を通しての地域活性化にも貢献している。長浜高校では、人口減少、少子化に伴う生徒数の減少が心配となっているが、今回の受賞により県内外からの入学希望者がふえることも想定され、また、学生生活を通して、大洲市、長浜を第二のふるさととして親しみを持ってもらうためにも、学生寮を整備する考えはないか。

**答** 長浜高校水族館部、チーム・ニモの重松さん、山本さんのお二人には、国際舞台で研究成果を発表され、4等の入賞を果たされたことについて、改めてお祝いを申し上げます。

遠隔地の生徒の皆さんの学生寮

の整備については、地元の西村兵太郎先生・絆の会の下宿先募集の活動など、まずは地域の皆さんによる活動に対し支援を行うことを基本に、今後入学生の増加に向けた取り組みや遠隔地の生徒の皆さんへの対応をどのようにすべきか、地元地域の皆様とも相談し、対応を検討していきたいと考えています。

### 避難所の整備について

**問** 東日本大震災から4年がたち、最近、日本各地において大きな地震が発生し、南海トラフ大地震もいつ起きてもおかしくないと心配されている。

当市においても各施設の耐震対策を進められているが、大洲市指定避難所に指定されている長浜体育館は、建設後51年が経過し、老朽化に伴う損傷が著しく、雨漏りのため2階大ホールは使用中止となっている。市民の方からも敬老会などの人数の多く集まる会合などで使用できず、大変不便だと聞いているが、地震、津波、台風などの災害時に安心して避難ができ、また通常時は大人数の行事等にも対応できる長浜の防災拠点施設として建てかえの考えはないか。

**答** 長浜体育館については、取り壊しも検討しましたが、施設利用についての地元の要望も強い

ことから、雨漏り対策等の施設修繕工事を行い、現施設を活用していく方向で現在調整を進めているところだ。

しかし、耐震化等の課題もあり、長期的な利用は困難であると思われ、公共施設等総合管理計画及び長浜中学校体育館の改築計画の中で、検討していきたいと考えています。

長浜体育館は、耐震性の低い建築物ですので、大地震による避難所としての利用には不向きですが、修繕を行うことで土砂災害や水害などの災害時には避難所として活用できるものと考えています。

### 観光まちづくり

**問** 長浜地区では、余暇の多様化の中で、国道378号の整備も相まって、乗用車や観光バス等の往来が多くなっている。また、国の重要文化財に指定された長浜大橋や龍馬脱藩の港など歴史的な遺産が年々周知をされ、今後一層観光客の増加が見込まれている。観光情報の発信、イベント活動の拠点とし、長浜地域の活性化を図るため長浜の中心的な商店街である本町入り口付近の国道沿いに土地を確保し、道の駅を整備する考えはないか。

**答** 平成25年3月、長浜町商工会から長浜港湾内港部の埋め立

てによる再開発用地の活用として特産品や物産等を販売する施設整備の提言が出され、さらに同年11月には長浜まちづくり協議会を設立し、施設の早期実現に向けた協議検討が行われています。今後において、県が整備されている小型船だまりが完成し、漁業関連施設の整備や漁船の移転が進み、現内港の埋め立てによる新たな用地確保のめどが立てば、その土地利用計画の中において道の駅を主要施設の一つとして位置づけし、事業実施主体や管理運営等を含め検討していきたいと考えています。しかし、現内港埋め立てにはかなりの期間を要しますので、まずは長浜大橋周辺に現在計画中の観光トイレや駐車場、案内板などの整備を進めながら、長浜地域の活性化に努めていきたいと考えています。

整備が進められている長浜大橋周辺

